

基本計画策定時および以降の検討について

1. 基本計画における位置づけ.....	1
(1) 基本方針と展開方向.....	1
(2) 導入機能.....	2
(3) ゾーニング.....	3
2. 基本計画策定時における体験的歴史学習の検討.....	5
(1) 体験的歴史学習の展開方向.....	5
(2) 空間への展開.....	7
3. 基本計画策定以降の検討（H18-20年度）.....	9
(1) キトラ古墳周辺地区に求められる役割・機能の整理.....	10
(2) 体験学習館の役割の検討.....	15
(3) 地区の管理運営等について.....	17
(4) 地域と連携したイベントプログラムの試行.....	21
(5) 基本設計に伴う修正・追加事項.....	23
(6) キトラ古墳周辺地区における「体験的歴史学習」の定義.....	25

1. 基本計画における位置づけ

キトラ古墳周辺地区基本計画（以下、基本計画）においては、歴史的風土の創造的維持保全活用に向けた国営飛鳥歴史公園全域に求められる新しい役割や、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の立地特性、平成12年度のキトラ古墳周辺地区基本構想検討委員会における整備の基本的考え方を受け、次のような基本方針のもとに整備を進めていくことが検討された。

<以下、基本計画からの引用>

(1) 基本方針と展開方向

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、国営飛鳥歴史公園に求められる多様な役割の中でも歴史的風土及び史跡の活用による体験学習の機能を主要な機能と位置付けられることから、以下の4点を基本方針とする。

- キトラ古墳および檜隈寺跡の保全整備計画と連携し、人々に感動を与える史跡周辺の環境整備を図る
 - ・史跡周辺の環境保全
 - ・史跡周辺の環境創出

- キトラ古墳および檜隈寺跡の解説を通じ、飛鳥の歴史に関する情報発信・学習機能の提供を図る
 - ・史跡にまつわる展示・解説の実施
 - ・史跡を通じて遊びながら楽しく学べる体験的歴史学習の場の提供

- 飛鳥の歴史的風土を味わいながら、ゆったりと過ごせる公園空間の整備を図る
 - ・自然・人文環境が一体となった歴史的風土の保存活用
 - ・歴史的風土を活かした、散策・休養・眺望の場の整備

- 質の高い利便性・サービスの提供及び新しい維持管理手法の導入を図る
 - ・来園者の利便性の確保
 - ・来園者と地元の方々の参加による管理運営やリサイクル等、新しい公園維持管理手法に対応した管理施設の整備

(2) 導入機能

国営飛鳥歴史公園整備方針、前掲の基本方針を踏まえ、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区に求められる機能を「史跡や風土を活用した体験学習及び情報提供機能」を基本とし、以下のように設定する。

①キトラ古墳および檜隈寺跡周辺の環境保全・修景機能

キトラ古墳及び檜隈寺跡を包蔵する周辺の環境を一体的に保全する。また、キトラ古墳周辺の修景整備を行い、鑑賞の場の整備を図る。

②体験的歴史学習機能

飛鳥時代にさまざまな影響を与えた東アジアとの交流に関する情報収集・発信を行いながら、史跡および歴史的風土を誰もが楽しく学ぶことができる体験学習の場の創出と歴史的風土を構成する田園風景を鑑賞対象として捉えた展示を行う。

③歴史的風土(農地、森林)の保全・創出機能

自然と人文環境が一体となった田園環境の保全を図るとともに、歴史的風土を構成する飛鳥らしい田園環境の質の向上や環境の保全を図る。また、歴史的風土の中での自然とのふれあい、休息、展望、散策等が楽しめる空間を創出する。

④飛鳥西南部における情報拠点機能

飛鳥地方に点在し、公園と地域が一体となっている国営飛鳥歴史公園の特徴を踏まえ、来園者の利便性確保のための情報提供や交通サービス施設の整備を図る。

⑤参加と交流を目指した新しい公園管理機能

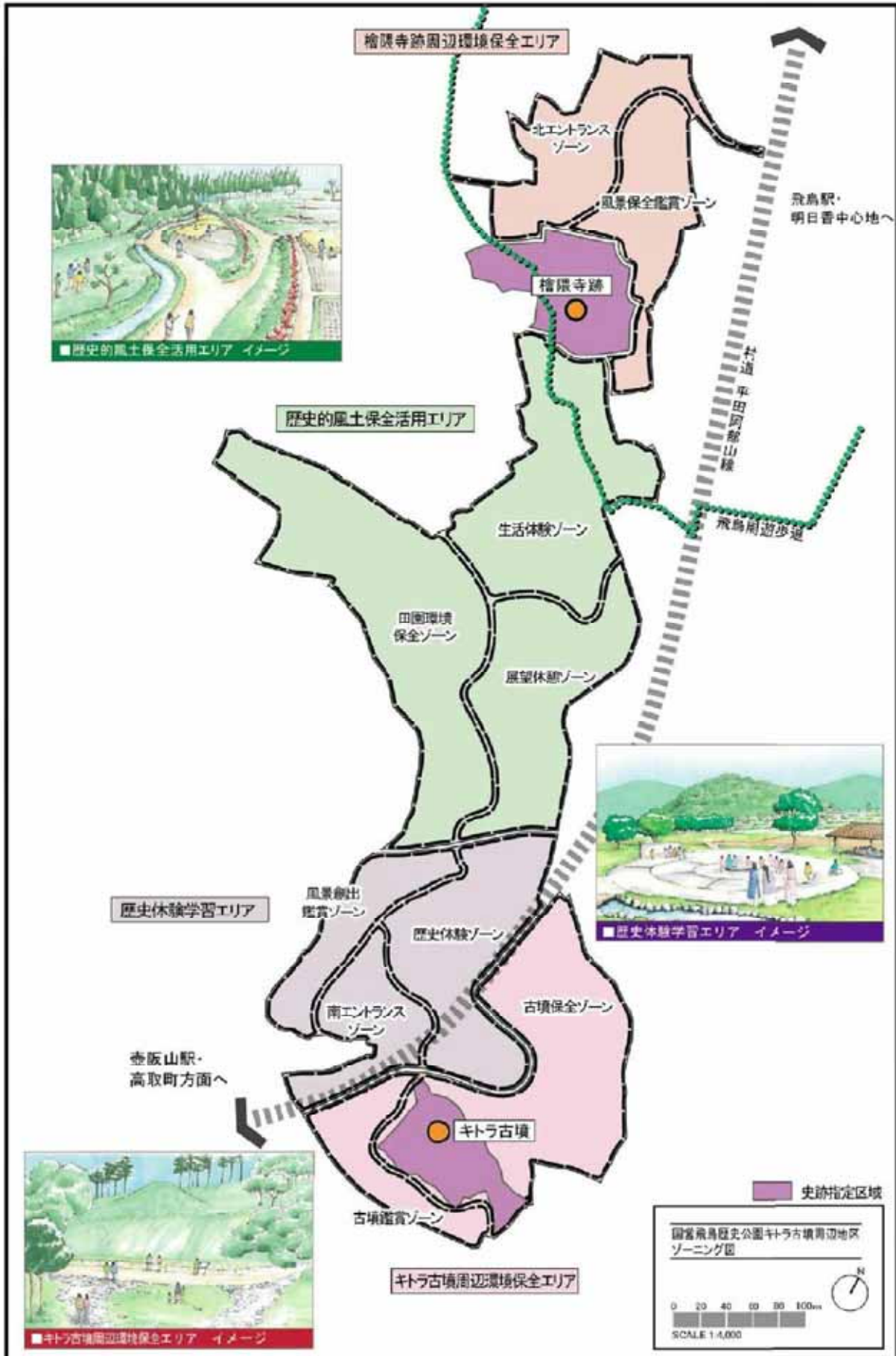
来園者や地域住民が公園管理に携わり、歴史的風土の保存への理解と参加者同士の交流の場となる拠点施設の整備を図る。

(3) ゾーニング

キトラ古墳および檜隈寺跡周辺の環境保全、体験的歴史学習の場の整備、歴史的風土の保存など、空間利用の観点から4つのエリアに分け、各エリアにおいて以下のようにゾーンを設定する。

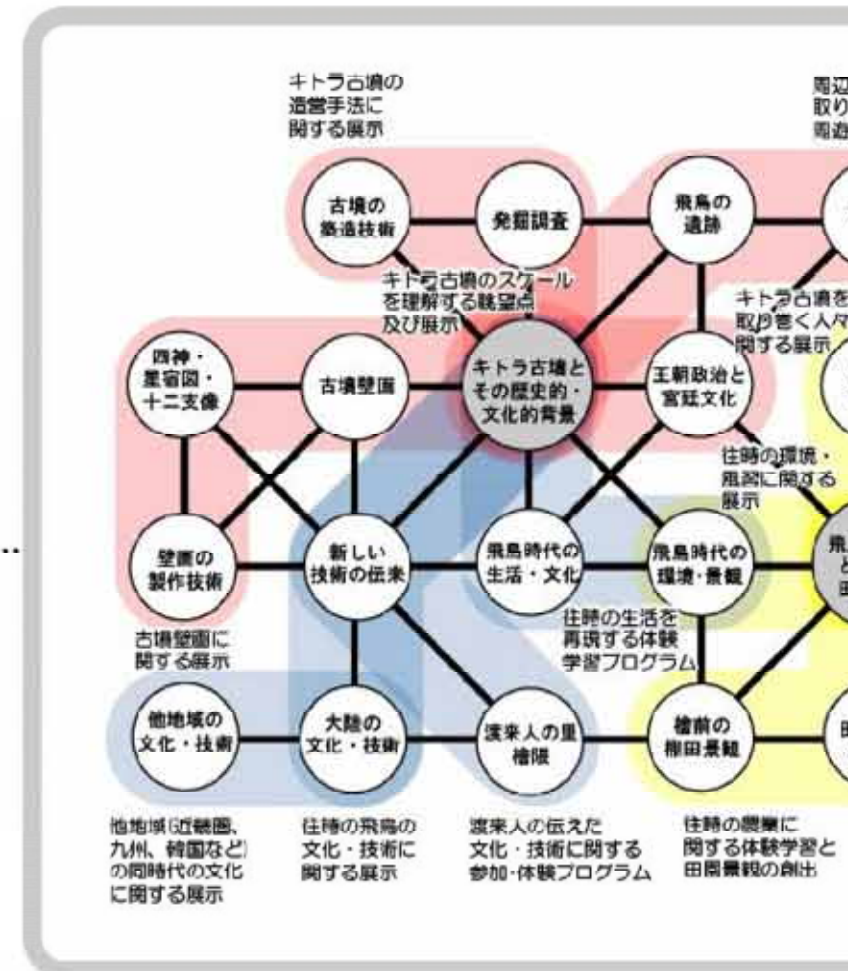
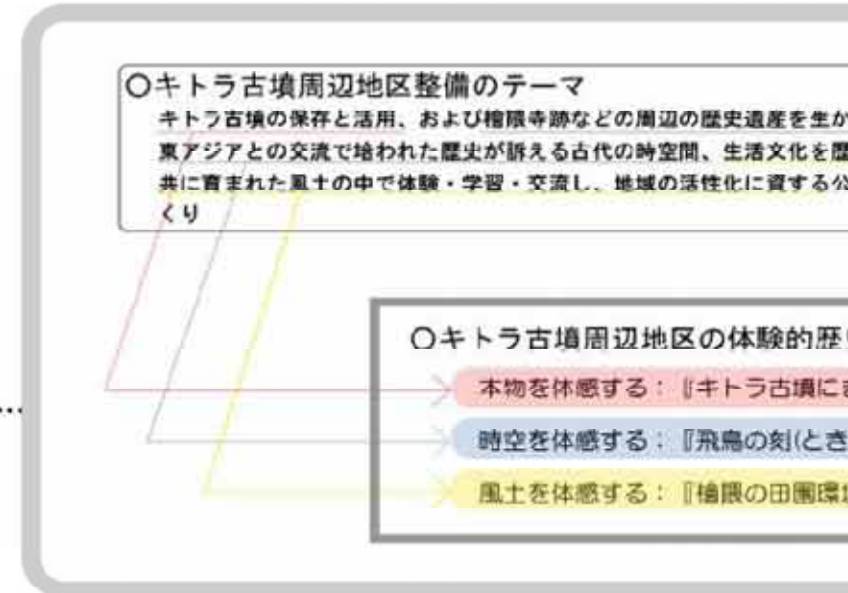
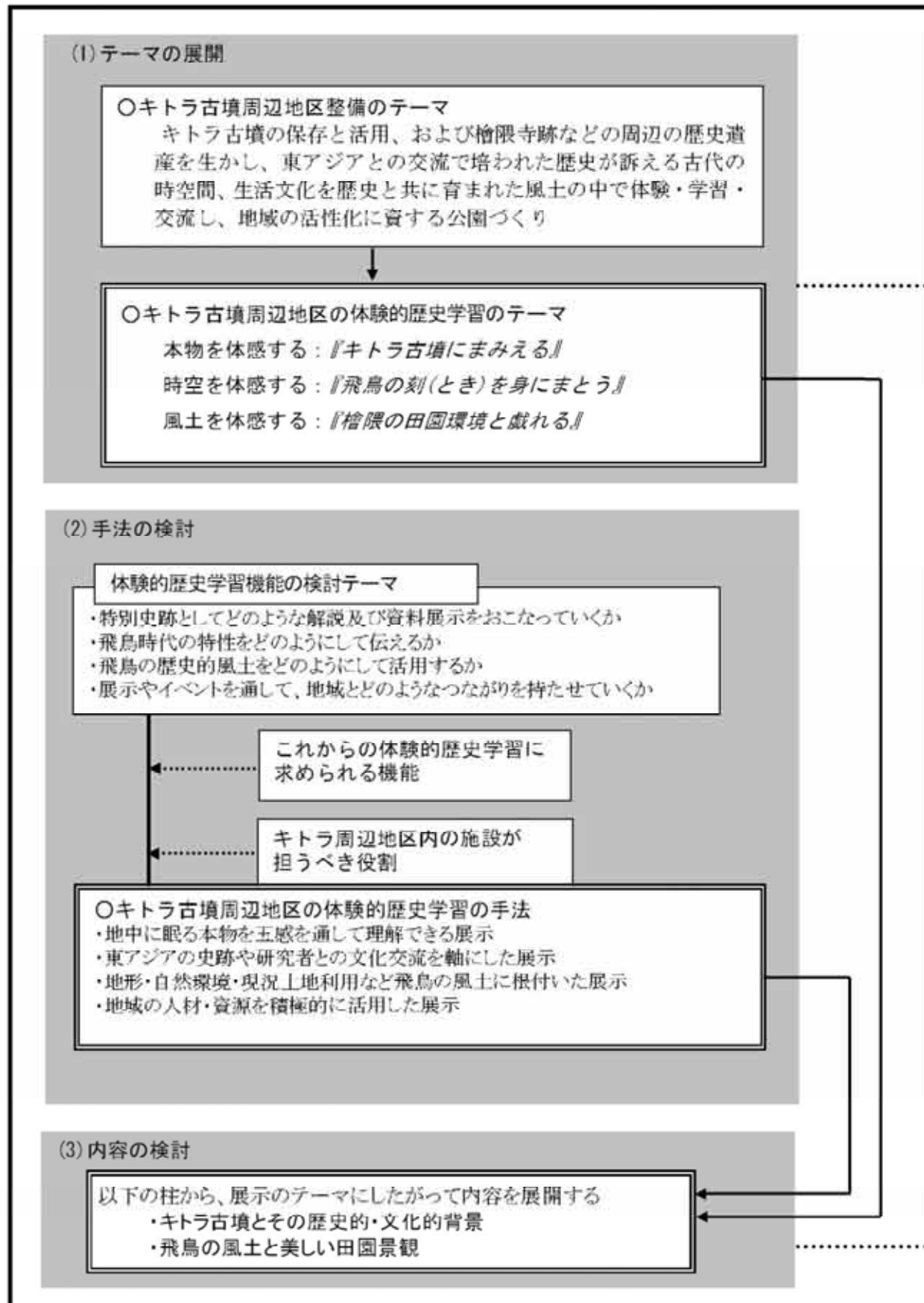
エリア	ゾーン	空間特性と資源等
キトラ古墳周辺環境 保全エリア	古墳保全ゾーン	キトラ古墳を含む丘陵部一帯
	古墳鑑賞ゾーン	周囲の景観から遮断されたキトラ古墳を見上げる盆地地形
檜隈寺跡周辺環境 保 全エリア	風景保全鑑賞 ゾーン	檜隈寺跡の前景となる平田阿部山線沿いの棚田空間 と高松塚古墳の眺め
	北エントランス ゾーン	飛鳥周遊歩道と連続するキトラ古墳周辺地区の北端 部で、平田阿部山線から景観的に遮断されている平地
歴史体験学習エリア	歴史体験ゾーン	整備に際して地形の改変を最小限に押さえることがで きるキトラ古墳近傍部
	南エントランス ゾーン	キトラ古墳周辺地区の南端部で、平田阿部山線と隣接 する平地
	風景創出鑑賞 ゾーン	段状の地形とキトラ古墳を含む丘陵の眺め
歴史的風土保全活用 エリア	田園環境保全 ゾーン	谷筋に沿って続く棚田地形と樹林地
	展望休憩ゾーン	キトラ古墳周辺地区の中央部に位置し、近傍の集落と 金剛葛城山系の山並みが展望できる尾根部分
	生活体験ゾーン	檜隈寺跡と連続する舌状台地と谷筋に沿って続く棚田 地形

国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区 ゾーニング図

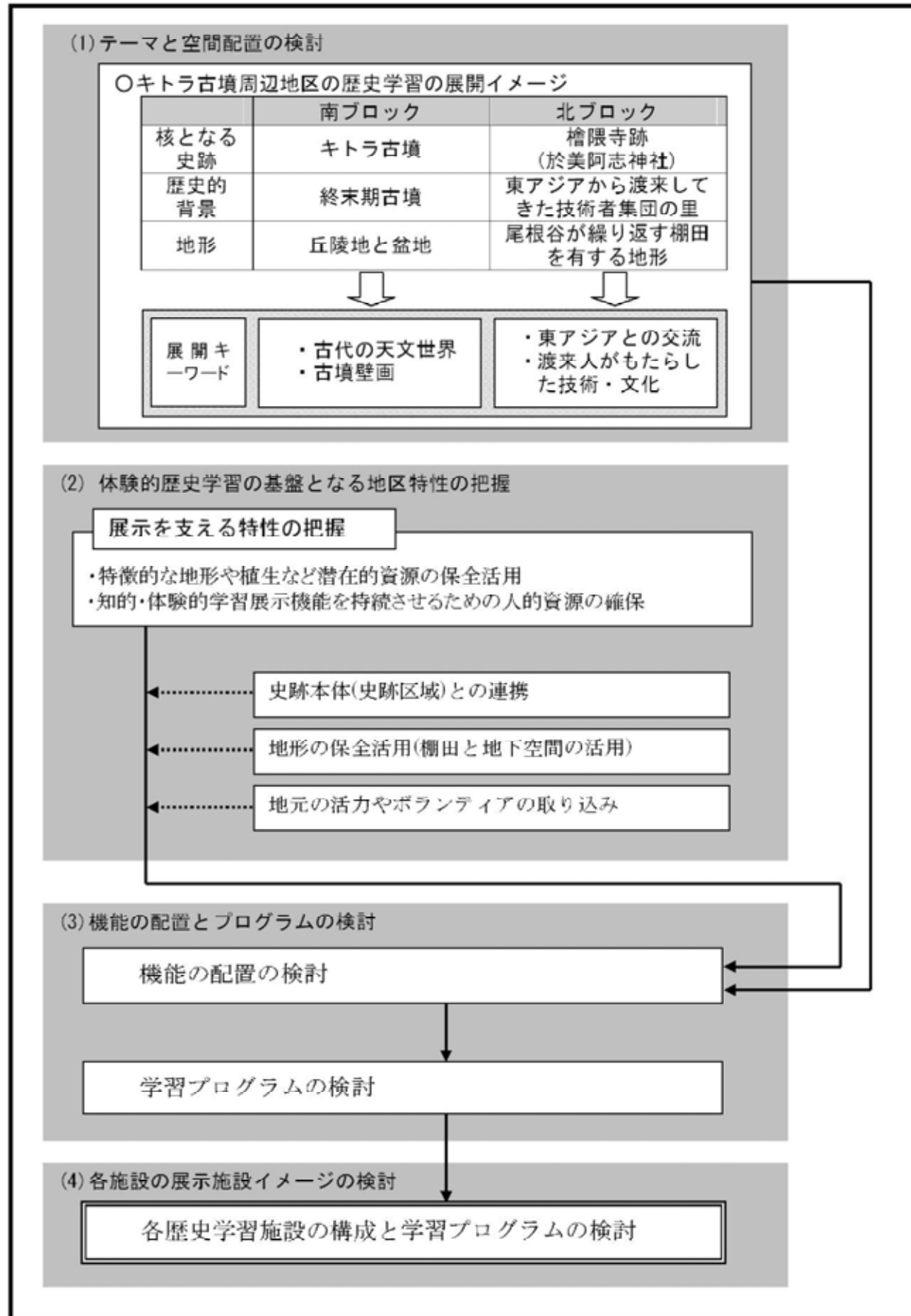


2. 基本計画策定時における体験的歴史学習の検討

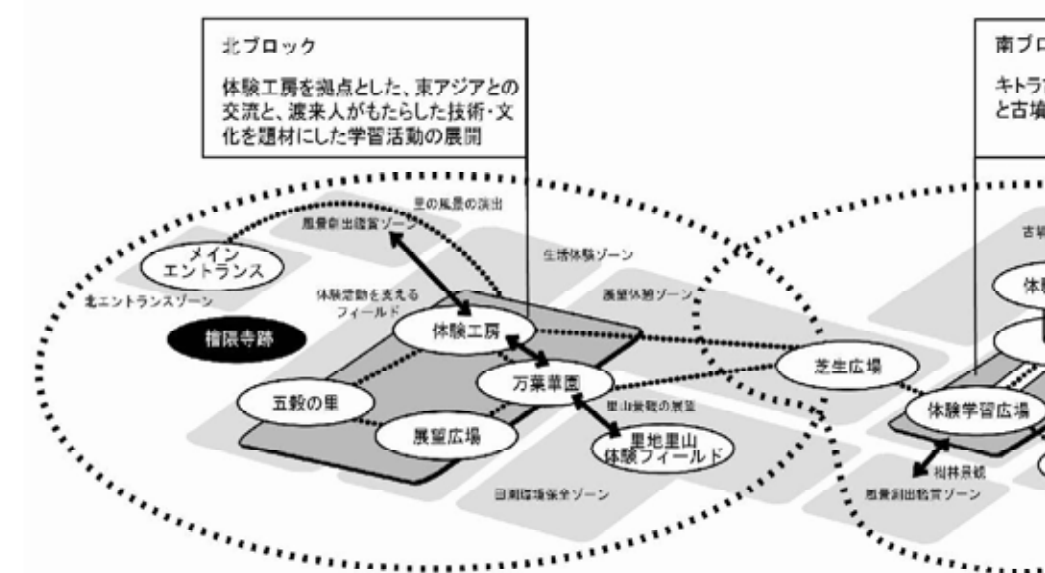
(1) 体験的歴史学習の展開方向



(2) 空間への展開



□体験的歴史学習の展開イメージ



□歴史学習を展開する拠点施設

	エリア	ゾーン	施設名称・規模	基本計画内の施設
南ブロック	周辺環境保全 エリア キトラ古墳	古墳鑑賞 ゾーン (0.6ha)	古墳鑑賞広場	キトラ古墳の全容が見渡せる広場を、う野の花等による修景を行い、来館行える場を提供する。小学生の遠足来園を考慮した規模とする。また、古墳の概要を示した解説施設形態で設置する。
		歴史体験学習 エリア	歴史体験 ゾーン (1.3ha)	体験学習館 体験学習広場
北ブロック	歴史的風土保全 活用エリア	生活体験 ゾーン (1.9ha)	体験工房 および 周辺農地	渡来系氏族が居住していた地区にち、体験できる工房群を配置する。工房による指導のもと、単位制の講座や、また工房周辺の農地については、体験などを対象とした体験学習教室の場れる。飛鳥の歴史的風土を保全・活景を行う。五穀など往時の田園環境場として活用する他、体験工房での
		保全 ゾーン (2.6ha)	田園環境 ゾーン	里地里山 体験フィールド

3. 基本計画策定以降の検討（H18－20年度）

体験的歴史学習の展開を前に、公園基本計画や基本設計検討に際して、キトラ古墳周辺地区及び公園周辺に存する資源や場所性などをもとにした当該地区の「位置付け」や、周辺施設との比較などを通した求められる「機能」、さらには地域の活動団体との連携などを通じた開園まで及び開園後の「管理運営」について検討を行ってきているところである。

当該地区の位置付け、持つべき機能、その後の運営を通じて、基本計画に謳われているキトラ古墳周辺地区および檜隈寺跡の保全整備との連携や、飛鳥の歴史に関する情報発信・学習機能の充足、ゆったりと過ごせる公園空間の実現、新しい維持管理手法の導入などを目指している。

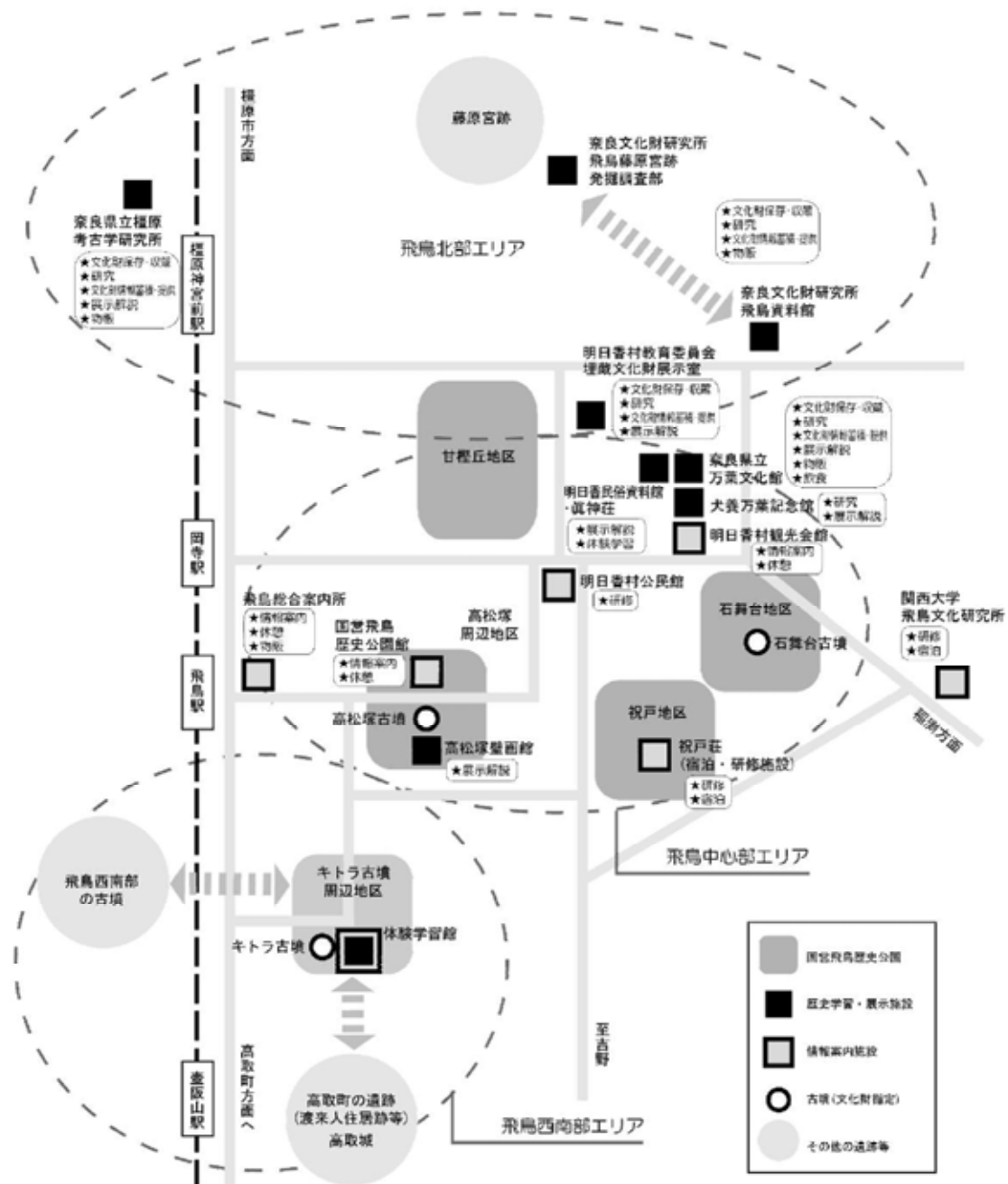
(1) キトラ古墳周辺地区に求められる役割・機能の整理

キトラ古墳周辺地区に求められる役割・機能を整理するため、飛鳥地方を北部・中部・西南部の3つのエリアに分類して、周辺類似施設の展示内容・展示手法を把握し、飛鳥地方における現在・将来の観光動向とキトラ周辺地区の位置づけを整理した。

① 周辺類似施設の分布

- ・ 飛鳥地方には歴史学習・展示機能を担う施設が8施設あり、全て飛鳥北部エリアおよび飛鳥中心部エリアに位置する。
- ・ 情報案内施設は、飛鳥中心部エリアに集中して分布する。

■ 周辺類似施設の分布



■飛鳥地方の博物館・資料館の概要

名称	施設概要
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室	飛鳥時代を中心に明日香・橿原地域の出土品などの諸資料を展示。
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館	飛鳥時代を中心に明日香・橿原地域の出土品などの諸資料を展示。
奈良県立橿原考古学研究所 付属博物館	橿原遺跡の出土品をはじめとした奈良県下の考古学資料を展示。
奈良県立万葉文化館	万葉ミュージアムや万葉庭園など、万葉文化に親しみ理解するための資料を施設。
明日香村埋蔵文化財展示室	明日香村内の出土遺物等を展示。
明日香民俗資料館・眞神荘	明日香村の歴史や年中行事を紹介し、生活様式・民具・伝承などに関する資料を展示。
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館	万葉研究の第一任者・犬養孝氏の業績を顕彰し、犬養氏や万葉歌に関する資料を展示。
高松塚壁画館	高松塚古墳より発見された彩色壁画の模写、模造、石槨レプリカなどを展示。
国営飛鳥歴史公園館	国営飛鳥歴史公園の玄関口として、飛鳥を訪れた人々に史跡や施設に関する情報を提供。

②周辺施設の展示内容

- ・古代の飛鳥を中心とした歴史学習のための展示が多く、現代の明日香の風景や人々の暮らし、飛鳥の歴史的風土の保全等についての展示は少ない。
- ・古代飛鳥についての展示では、分野やテーマによってある程度棲み分けがされている。
- ・いくつかの施設でキトラ古墳についての展示を行っているが、現在のところ壁画等の写真と石室のレプリカによる展示が中心である。

■飛鳥地方の博物館・資料館の展示内容

独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室	タイムトンネル 現代から藤原京の時代へ→高耀る藤原京—今・昔・発掘— 展示室（順路あり） 新しい都—藤原京をつくる—→完成した都→飛鳥の四季→貴族の屋敷→藤原京再現→大垣を解体し、柱を抜きとる→都のくらし→埋もれた藤原の都→研究と保存のあゆみ 基準展示室（順路あり） 瓦の種類と使用位置→飛鳥諸寺の瓦→藤原宮の瓦→飛鳥・藤原宮の土器（土器のうつりかわり）
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館	第一展示室（順路あり） ようこそ古代飛鳥へ→飛鳥の宮→飛鳥の石→飛鳥の古墳→高松塚古墳→飛鳥の寺 第二展示室（「山田寺」東回廊の再現） 山田寺の歴史→東回廊の発掘→山田寺の建築→発掘された山田寺の伽藍→出土財の保存 特別展示室 亀型石造物、キトラ古墳壁画※特別公開
奈良県立橿原考古学研究所 付属博物館	第一展示室（順路あり） A 旧石器時代 A-1 狩人の時代 B 縄文時代 B-1 定住へのあゆみ→B-2 豊かな狩猟民の文化 C 弥生時代 C-1 稲作伝来→C-2 田と森の融合→C-3 神の宿る器→C-4 クニ

	<p>へのあゆみ</p> <p>第二展示室 D 古墳時代 D-1 ヤマト王権の成立→ D-2 倭の五王の時代→D-3 古墳のまつり→ D-4 ヤマト王権の展開→ D-5 藤ノ木古墳の時代→ D-6 ささまざまな器</p> <p>第三展示室 E 飛鳥時代 E-1 古代の宮都 E-1-1 飛鳥の宮→ E-1-2 藤原京と平城京 E-2 仏教文化と寺院の建立 E-2-1 仏教伝来→ E-2-2 広まる寺づくり→ E-2-3 東大寺をつくる E-3 古墳から火葬墓へ E-3-1 飛鳥時代の古墳→ E-3-2 火葬のはじまり</p> <p>F 平安～室町時代 F-2 中世びとの暮らし</p>
奈良県立万葉文化館	<p>一般展示室 歌とは何だろう 歌の広場（順路なし） 里山での歌、都市での歌／屋内での歌／古代音楽を今に甦らせる／日本とアジアの歌／古代の文房具／さまざまな万葉集／石にきざまれた万葉時代の歌／万葉びとの系譜／左注題詞から歌物語へ 万葉おもしろ体験（順路なし） 万葉びとの遊び／万葉ファッション体験／さやけしルーム 万葉劇場</p> <p>特別展示室 飛鳥池遺跡とは</p>
明日香村埋蔵文化財展示室	<p>（順路・展示タイトルなし） 調査速報（真弓鐘子塚古墳）／八釣・東山古墳／馬頭2号墳／飛鳥寺跡／川原寺／坂田寺西橋／雷内畑遺跡／雷東方遺跡の井戸枠／龍福寺層塔／高取城猿石／飛鳥東垣内／酒船石遺跡／キトラ古墳／高松塚古墳／マルコ山古墳／牽牛子塚古墳</p>
明日香民俗資料館・眞神荘	<p>民俗資料館（順路なし） 信仰／食／住／農耕 眞神荘（順路なし） 亀型石造物（CG映像）／飛鳥民家</p>
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館	<p>（順路・展示タイトルなし） 犬養孝年譜／犬養先生揮毫の万葉歌／「万葉の旅」ノート／犬養孝と明日香村(映像資料)／遺品</p>
高松塚壁画館	<p>（順路・展示タイトルなし） 現状模写／副葬品模造／石室レプリカ／一部復元模写／壁画再現模造模写／墳丘版築層標本／東アジアの古墳壁画</p>
国営飛鳥歴史公園館	<p>（順路なし） 国営飛鳥歴史公園の4地区と周辺の史跡、石造物（写真パネル）／公園の各地区や史跡の位置(ジオラマ)／飛鳥百景／飛鳥歴史アニメ／飛鳥発掘関係情報</p>

* 展示タイトルを記載。タイトルの無いものは、展示資料の名称等を記載。

* : キトラ古墳に関する展示

③周辺施設の展示手法

- ・ガラスケースの中の出土資料や解説の書かれたパネルを「見る」展示手法が多い。
- ・イベントなどでものづくり体験などを行っている施設はあるものの、常時体験型・参加型の学習活動を行っている施設はみられない。
- ・歴史や考古学に興味のある人が主な対象となっている。
- ・映像展示機器等の更新、施設の老朽化が課題となっている。

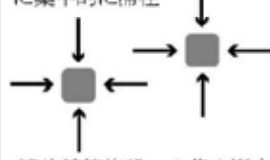
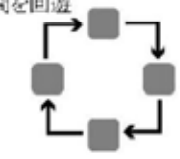
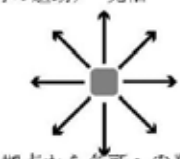
■飛鳥地方の博物館・資料館の展示手法

	見る						触る	遊ぶ	調べる		イメージする
	パネル展示	実物展示	レプリカ展示	立体模型展示	映像資料展示	映画・歌劇等上演	インズ・オン展示	ゲーム型展示	図書閲覧	情報検索端末	（イメージ展示） 導入部の演出
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室	○	○	○	○	○					○	○
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館	○	○	○	○	○				○	○	
奈良県立橿原考古学研究所 付属博物館	○	○	○	○	○		○		○	○	○
奈良県立万葉文化館	○	○	○			○	○	○	○	○	○
高松塚壁画館	○		○						○	○	
国営飛鳥歴史公園館	○			○	○				○	○	
明日香民俗資料館・真神荘	○	○			○						
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館	○	○			○				○	○	
明日香村埋蔵文化財展示室	○	○	○								

④飛鳥地方における現在・将来の観光動向とキトラ古墳周辺地区の位置づけ

- ・飛鳥地方の博物館等施設は飛鳥北部・中心部に集中しており、西南部には拠点となる施設がないことから、キトラ古墳周辺地区では飛鳥西南部の拠点としての役割が求められていることが分かった。
- ・飛鳥地方の施設は屋内での展示・解説が中心のものが多く、体験学習や史跡案内など実際に体を動かしたり現地に赴いて学習するといったアクティビティの高い歴史学習を行っている施設は少なく、キトラ古墳周辺地区では体験学習機能、史跡案内機能、展示・解説機能を兼ね備えた施設が求められる。

■飛鳥地方における現在・将来の観光動向

	現在			将来（キトラ古墳周辺地区整備後）		
	既存施設	遺跡・文化財	交通・周遊	飛鳥地方の中での位置づけ	観光動線タイプ	強化すべき機能
飛鳥北部	<p>○文化財調査・研究機関の展示施設が点在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橿原考古学研究所 ・奈良文化財研究所 ・明日香村埋蔵文化財展示室等 	<p>○藤原宮跡と飛鳥京北端部の遺跡（橿原市内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤原宮跡（明日香村内） ・大官大寺跡 ・石神・水落遺跡 ・甘樫丘 等 	<p>○公共交通機関によるアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥～橿原神宮前を周遊バスが巡回 ・橿原神宮前駅にレンタサイクル拠点あり ・橿原～飛鳥間の周遊歩道は未計画・未整備 ・博物館等施設来訪者の立ち寄り中心 	<p>○飛鳥・藤原地域の歴史学習拠点エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査・研究機関による情報提供・歴史学習 ・藤原宮とのネットワーク→飛鳥藤原地域の歴史学習拠点に位置づけ ・ターゲット→考古学に興味のある人、中高年 	<p>○滞在型</p> <p>博物館施設等の大型施設に集中的に滞在</p>  <p>博物館等施設への集中滞在</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎研究機能 ◎文化財保存・収蔵機能 ◎文化財情報蓄積・提供機能 ◎展示・解説機能
飛鳥中心部	<p>○歴史観光施設が多く点在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県立万葉文化館 ・明日香民俗資料館・眞神荘 ・大養万葉記念館 ・明日香村観光会館 ・明日香村公民館 ・飛鳥総合案内所 ・高松塚壁画館 ・国営飛鳥歴史公園 等 	<p>○飛鳥京核心部を構成する遺跡（明日香村内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥池工房遺跡 ・飛鳥京苑地・川原寺跡 ・伝飛鳥板蓋宮跡 ・酒船石遺跡・岡寺跡・定林寺跡 ・石舞台古墳・島床遺跡 ・高松塚古墳 等 	<p>○公共交通機関＋周遊歩道＋レンタサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥中心部は周遊バスが巡回 ・レンタサイクル拠点が点在 ・周遊歩道は整備済 ・飛鳥地方内で来訪者が最も多い地域 	<p>○飛鳥中心部の賑わいエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食や物販等も含め飛鳥の歴史・文化が楽しめるエリア ・まちづくり活動との連携→地域主体のコンパクトな観光空間に位置づけ ・ターゲット→女性客、若年層、カップル等 	<p>○回遊型</p> <p>展示施設や情報提供・休憩・飲食・物販等のサービス施設間を回遊</p>  <p>施設間の回遊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報提供機能 ◎休憩機能 ◎高度なサービス機能
飛鳥西南部	<p>○拠点施設なし</p>	<p>○終末期古墳と渡来人集落跡（明日香村内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キトラ古墳・牽牛子塚古墳 ・マルコ山古墳・岩屋山古墳 ・檜隈寺跡 <p>（高取町内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水谷遺跡・ホラント遺跡 ・森カシ谷遺跡・観音寺遺跡 等 	<p>○周遊歩道、レンタサイクル未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日香村内は循環バスが走行 ・レンタサイクル拠点なし ・周遊歩道は未整備の箇所あり ・来訪者が少ない地域であるが、近年は高取町への来訪者が増加傾向 	<p>○飛鳥西南部の史跡周遊・体験エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キトラ古墳周辺地区を拠点とした体験学習エリア ・高取町とのネットワーク→飛鳥西南部～高取町の周遊拠点に位置づけ ・ターゲット→ファミリー層、アクティビティ嗜好が高い層 	<p>○発信型</p> <p>拠点施設（体験学習館）から各所（圏内および西南部・高取町の遺跡）へ発信</p>  <p>拠点から各所への発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎体験学習機能 ◎史跡案内機能 ◎情報案内機能 ◎休憩機能

キトラ古墳周辺地区

= 飛鳥西南部の拠点と設定

体験学習館を核として、地区内や飛鳥西南部の史跡を周遊しながら、終末期古墳や渡来人の歴史・文化に関する体験的歴史学習を展開する。

主要な機能：

- ◎体験学習機能…屋外空間との一体的活用
- ◎史跡案内機能…飛鳥西南部への案内
- +
- ◎展示・解説機能…キトラ古墳・檜隈寺跡に関する展示・解説

(2) 体験学習館の役割の検討

平成19年度意見交流会の検討内容（体験学習館にかかる検討）

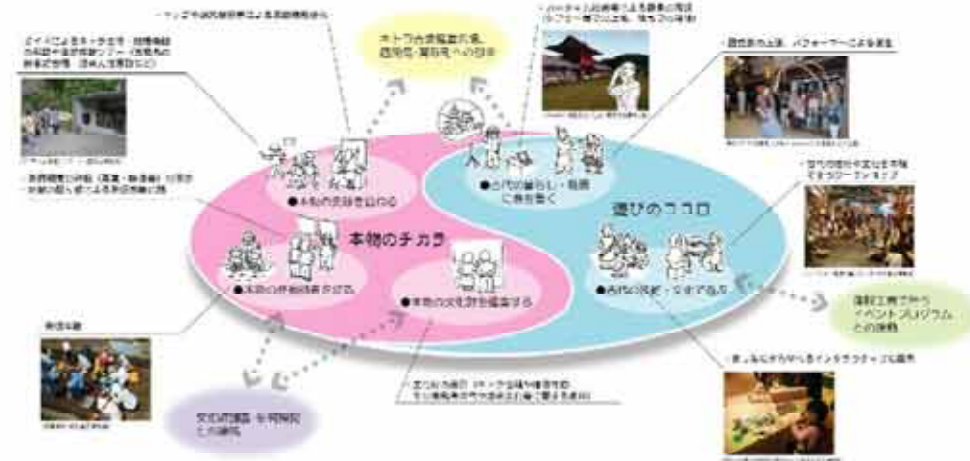
1. 体験学習館の位置づけ

キトラ古墳周辺地区＝飛鳥西南部の拠点

体験学習館を核として、地区内や飛鳥西南部の史跡を周遊しながら、終末期古墳や渡来人の歴史・文化に関する「体験的歴史学習」を展開する。

2. 体験学習館のコンセプト

- 本物のチカラ（本物の魅力を満喫する施設）
- 遊びのココロ（遊びながら古代にタイムスリップできる施設）



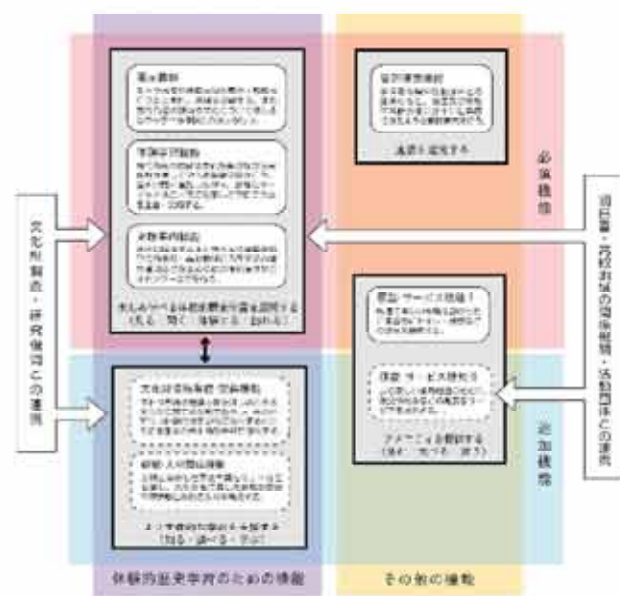
3. 体験学習館の機能

【必須機能】

- 展示・解説機能
- 体験学習機能
- 史跡案内機能
- 管理運営機能
- 便益・サービス機能Ⅰ

【追加機能】

- 文化財情報蓄積機能
- 研修・人材育成機能
- 便益・サービス機能Ⅱ（高度なサービス提供）



*指定文化財の展示を行う「公開施設」とするためには、設計、設備、運営面での条件あり。

4. 施設の設置・管理運営のあり方

多様な関係機関の参画による設置・管理運営のあり方を検討

〈平成20年の動き〉

文化庁の古墳壁画保存活用検討会の開催（第1～3回）

- 体験学習館にかかる意見
- ・壁画の保存方針を固めてから体験学習館の計画を検討すべき。
 - ・壁画の保存管理ができるような博物館的な要素を入れてほしい。
 - ・開園前からの人材（エドゥケーターやボランティア）の育成、ソフト面の発展性がポイント
 - ・壁画の活用方法等については文化庁・国交省が連携して検討すべき。

- 古墳本体にかかる意見
- ・剥ぎ取った後の古墳をどう活用するかがポイント。
 - ・古墳の墳丘だけでなく周辺の取り扱いも重要。現在の地形を生かした整備を考えてもらいたい。
 - ・整備の方針を早期に定めたい。壁画の剥ぎ取り作業が終わってから墳丘整備にかかる段取りとなる。

壁画の保存は検討と足並みを揃えた施設計画の検討

キトラ古墳周辺地区全体でどのような「体験的歴史学習」を行うかを検討

- 文化財展示に関する情報収集
- ・指定文化財の展示にかかる条件・課題の把握（設計、設備、運営等）
 - これまでの公園施設とは異なる設置・運営手法が求められる。
- 飛鳥地方での位置づけの検討
- ・展示施設は多くあるが、常時参加・体験型の学習を実施している施設はない。
 - ・古代飛鳥の歴史的な展示が中心で、飛鳥の風景や暮らし、風土を紹介する施設は少ない。
 - 遊び、楽しみながら飛鳥の歴史や風土を学べる場が必要。

各地の博物館等の事例調査

ホンモノを体験できる地区に

平成20年度意見交流会の検討内容（地区全体の体験的歴史学習）

1. キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習について

＝「渡来人のもたらした技術・文化」と「飛鳥の歴史的風土」について、遊びながら楽しく学べる普及・啓発事業の総称。展示・体験学習・史跡案内の3つの手法で展開。

- ・体験的歴史学習とは
- ・体験的歴史学習の内容、範囲
- ・メインターゲットの設定
- ・プログラムの検討
 - ・テーマ・内容
 - ・手法
 - ・ターゲットごとのプログラム

2. 体験的歴史学習のための導入機能と施設配置【第3・体験的歴史学習に必要な機能および施設の配置を地区全体で拡充に対応。】

■体験学習施設配置イメージ



3. 管理運営の方向性【第4回意見交流会検討】

文化財の展示・保管も視野に入れ、関係機関と連携した設置・

(3) 地区の管理運営等について

①施設管理運営計画

基本的には既存4地区で行われている清掃、点検、補修などの施設管理手法と同等のものが想定されるが、映像施設等の高度な設備と定期的なソフトの更新が必要な体験的学習施設などの高度なサービスの提供についても検討が必要となる。

また、施設を用いる体験学習プログラムの導入に際しては、施設維持管理面と企画運営面との密接な連携を図り、柔軟な施設の維持管理を行うことが必要となる。

②史跡指定区域と連携した維持管理手法

史跡指定区域については、現在、文化庁による維持管理が行われているが、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備後も同様の管理主体のもと、史跡の保護活動が続けられていくと思われる。

今後のキトラ古墳および檜隈寺跡の保存管理と調整を図りながら、公園部分と一体的な空間として植生管理や施設管理の調和を図ることが必要となる。

・鑑賞空間の維持管理

飛鳥らしい季節感を演出するものとして、スマレ、カワラナデシコ等を用いて、園路沿いや広場端部での草本類のスポット植栽を行い、それらの育苗・増殖を進めていくことが求められる。

・史跡指定区域と連携した展示公開と維持管理

公園と史跡の施設管理も連携の取れたものとする。なお、古墳南西部から公園区域にまたがる竹林(モウソウチク)については、地下茎の伸長により文化財への影響が懸念される。そのため、竹の除伐を繰り返し、密度を徐々に下げながら根絶させ、潜在的に生育する樹木の成長を誘い、樹種転換を図っていくことが求められる。

③循環型の維持管理

体験工房、里地里山体験フィールドにおいては、体験工房でのものづくり、農作物の栽培、樹木の育成、家畜を用いた飛鳥の伝統的な農業体験など、様々な生産活動が行われるが、これらの個々の生産活動を公園全体の生産→消費・活用→再利用のサイクルの中で結びつけ、地区内全体で循環型の維持管理を行うプログラムを設定し、環境に配慮した管理を行うことが必要となる。

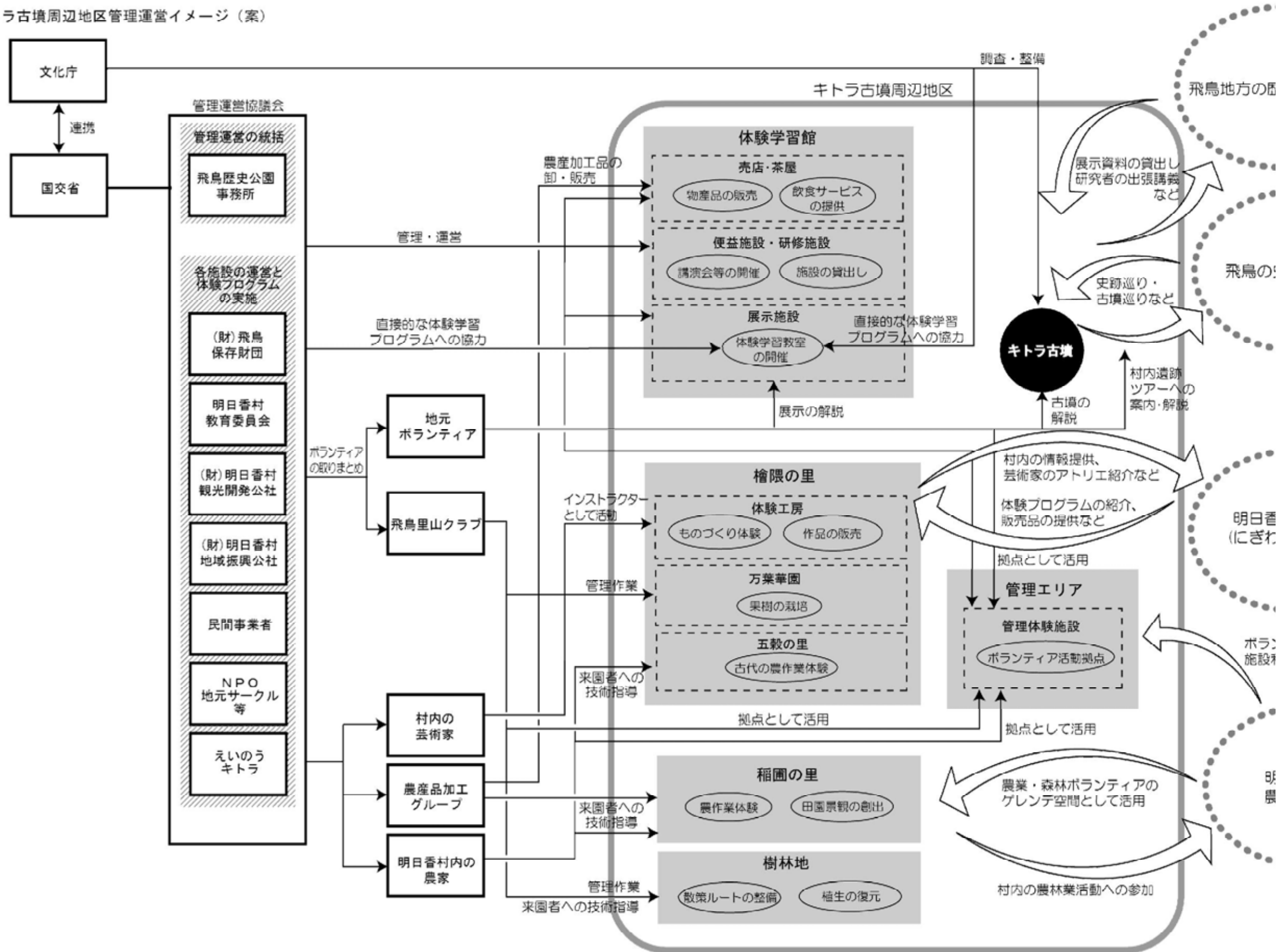
・体験的歴史学習とリンクした維持管理

維持管理作業で発生する植物残材を利用したクラフトなどの体験メニューを用意するなど、園内で発生・消費される物資のリユースとリサイクルを念頭においた体験学習を設定し、「遊びながら学ぶ」という理念に基づいた、来園者やボランティアが気軽に循環型維持管理に参加できるプログラムを展開することが求められる。

④多様な主体の協働・連携による管理運営

キトラ古墳周辺地区の運営については、国営飛鳥歴史公園及び明日香村内外で活動を行っている組織・団体との連携を図りながら、進めることが必要となる。

■キトラ古墳周辺地区管理運営イメージ（案）



(4) 地域と連携したイベントプログラムの試行

キトラ古墳周辺地区では、平成19年度より開園前までの地区内の景観維持、公園整備事業の周知、地域との連携を目的とした開園前イベントプログラムを企画し、地域の活動団体と連携しながら、開園前イベントプログラムを試行している。

①実施状況

年度	日時	内容	連携主体	参加状況
H19	H19_11/11 (日)	地元住民と来園者による、葉ボタンの朱雀づくりイベント	阿部山集落 えいのうキトラ	来園・参加者 16名 スタッフ 20名
H20	H20_10/26 (日)	村のイベント「明日香まるごと体験ウォーク」の一会場として以下を実施 A 公園事業とえいのうキトラのPR B 景観維持のため栽培したコスモスの収穫体験 C こんにゃく等の販売	阿部山集落 えいのうキトラ	まるごと体験ウォーク 900人 アンケート回答者数 199名
H21	H21_11/3 (火・祝)	村のイベント「明日香まるごと体験ウォーク」の一会場として以下を実施 A コスモス切り取り体験・キトラ古墳鑑賞 B 明日香の“食”体験 C 檜前遺跡群現地説明会 D キトラ古墳周辺地区ミニスタンプラリー	阿部山集落 檜前集落 えいのうキトラ	まるごと体験ウォーク 1,300人 ミニスタンプラリー配布数 500枚 アンケート回答者数 344名

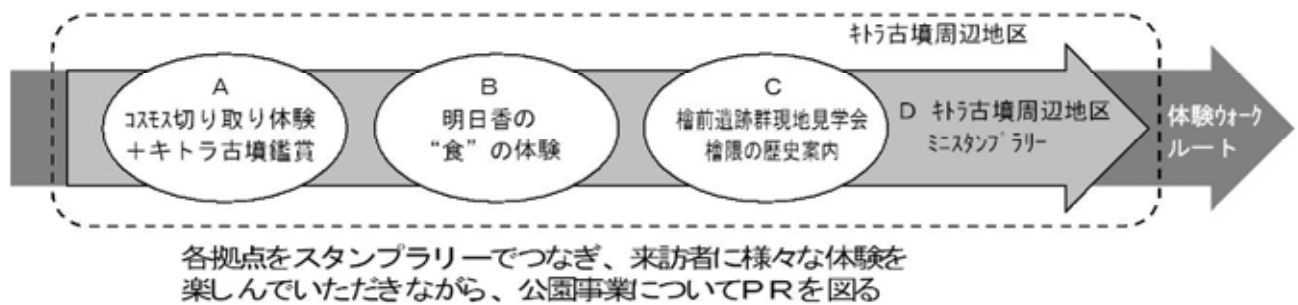
②今年度の実施概要

①実施日時：平成21年11月3日（火・祝） 9:30～16:00

②内容

明日香村のイベント「明日香まるごと体験ウォーク」の会場として、現在整備中であるキトラ古墳周辺地区において、地域の住民や活動グループ、関係機関等と連携しながら飛鳥来訪者への情報発信やサービス提供を行った。（詳細：参考資料3）

■実施イメージ



■当日の状況



キトラ古墳についての
解説・案内



コスモス摘み取り体験



明日香の“食”の体験



ミニスタンプラリー



檜前遺跡群現地見学会



檜前大字スタッフによる
「檜隈」の歴史案内

(5) 基本設計に伴う修正・追加事項

基本設計においてはキトラ古墳周辺地区基本計画策定以降、関係機関との調整や現況分析での課題等の敷地条件からの以下の修正・追加事項があった。

■ゾーン・施設ごとの基本計画から基本設計時の修正・追加事項

基本計画策定以降の検討により修正・追加が必要となったゾーニング(施設配置・施設仕様を含む)に関わる事項を以下に整理する。

エリア	ゾーン	施設	基本設計での修正・追加事項
キトラ古墳周辺環境保全エリア	古墳保全ゾーン	保全樹林	・村道平田阿部山線沿いの擁壁改修・撤去に伴う切土造成
		(古墳史跡区域)	(・村道阿部山6号線の取扱い)
	古墳鑑賞ゾーン	古墳鑑賞広場	・園路配置の変更に伴う広場形状の変更
		修景植栽地	・園路配置の変更に伴う広場形状の変更
檜等史跡周辺環境保全エリア	風景保全鑑賞ゾーン	展望所	—
	北エントランスゾーン	情報案内施設	—
		駐車場	・駐車容量の変更に伴う駐車場の形状変更
学習エリア 歴史体験	歴史体験ゾーン	体験学習	・景観検討からの建築物の配置の変更
		体験学習広場	—
		芝生広場	・雨水流出調整池の計画高調整と園路勾配の変更による芝生広場の勾配変更
	風景創出鑑賞ゾーン	風景鑑賞広場	・景観木や保全樹林周辺の計画高の変更
	南エントランスゾーン	駐車場	・駐輪スペースの確保
歴史的風土 保全活用エリア	田圃環境保全ゾーン	里山部	—
		谷部	・調整池の仕様の変更による体験フィールド(水田もしくは作業スペース)の拡大
	展望休憩ゾーン	展望広場	—
		万葉華園	・棚田地形の保全と崖崩れ箇所の改修のための造形成状の変更
	生活体験ゾーン	体験工房	・文化財発掘調査結果による建築物の配置変更
		維持管理施設	—
		五穀の里	・国営公園区域内での調整池確保



文化財の発掘調査の状況を踏まえ、施設配置を変更する可能性があります。

(6) キトラ古墳周辺地区における「体験的歴史学習」の定義

キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習のあり方を以下に定める。

